



## おめでとーございます 百歳を迎えられました

町では、満百歳を迎えられた方をお祝いする長寿表彰を行っています。  
このたび、勝原 道恵さん(麻生)が11月29日に満百歳を迎えられ、町長から寿詞などが贈呈されました。  
これからもお元気にお過ごしください。



満百歳を迎えられた勝原道恵さん

## 町合併20周年記念 宝くじ文化講演会開催

八頭町合併20周年を記念した宝くじ文化講演会が、11月23日(日・祝日)、八東体育文化センターで開催されました。

当日は俳優の紺野美沙子さんを迎え「星は見ている〜原爆でわが子を亡くした父母らの手記より〜」と題した講演と朗読が行われました。

講演では、紺野さんが1998年から国連開発計画(UNDP)親善大使に任命され、27年にわたり国際協力の分野で活動してきた経歴を基に、訪問先の国々が今なお紛争に巻き込まれている現状や、かけがえのない命が失われていること、そして平和の大切さについて語りました。来場者は一つひとつの言葉に熱心に耳を傾けていました。



国連開発計画(UNDP)親善大使として訪問した国の話をする紺野美沙子さん

また、紺野さんが「多くの人に届けたい」と話す作品「星は見ている」の朗読は、オリジナル映像とともに進められ、戦争の理不尽さや平和への思いを改めて深める時間となりました。

## 中学生・地域・大学生が 八頭中で語り合う 「CHA<sub>3</sub>プログラム」初開催

少人数のグループで価値観や思いを共有する交流型教育プログラム「CHA<sub>3</sub>(チャチャチャ)プログラム」が、11月15日(土)、八頭中学校で初めて開催され、2年生と地域住民、大学生ら約200人が参加しました。

当日は5〜6人の小グループに分かれ「大切にしているもの・言葉」「住んでいる地域の魅力」など身近なテーマをもとに自由に会話を交わし、交流を深めました。

参加した地域の方からは「中学生と話す機会が新鮮だった」「多様な考えに触れられた」との声が聞かれ、中学生も「違う考えを聞けて学びになった」「地域の人の思いを知れたことが印象に残った」と話していました。



さまざまなテーマで会話をし、交流を深めた参加者

## 地元産のお米を子ども食堂へ 日田農養生産組合が 「はっちゃん」に180キロ寄贈

地域で収穫した農作物を地域の人に味わってもらいたいという思いから、平成24年に集落営農組織を立ち上げ、農業を通じた地域づくりに取り組み農事組合法人日田農養生産組合が、子ども食堂「はっちゃん」に「きぬむすめ」や「星空舞」などのお米、計180キロを寄贈しました。

同組合の小林正樹組合長は「役員から提案があり、昨年に続いて寄贈した。子どもたちの食育の一助になればうれしいし、今後も続けていきたい」と話していました。

また「はっちゃん」を運営する前田代表も「地域の力で子どもたちが大きく育っている。感謝して食べたい」と話していました。



お米を寄贈する小林組合長(左)とそれを受ける前田代表(右)

## 秋色の遠見山を満喫 馬酔木の会と 丹比地区公民館が秋登山

遠見山馬酔木(あせび)の会と丹比地区公民館が春と秋に実施している遠見山登山が、11月16日(日)に行われました。

遠見山はアップダウンのある登り応えと自然林の紅葉が魅力で、この日は、町内外から約40人が参加。秋晴れの下、島コースと茂谷コースの2班に分かれ、標高805.9メートルの頂上を目指しました。途中、氷ノ山や扇ノ山など県東部の山並みを望める七合目の見晴台では、ガイドの案内を受けながら秋色の景色を楽しみました。

参加者は「思ったよりきつかったが楽しかった」と話していました。



頂上で記念撮影をする参加者

## きんぐり やずとく

まちで輝く人や、魅力あふれる場所・ものを紹介するコーナーです。2カ月に1回掲載します。知るこちよと得する「やずとく」八頭町の素敵な魅力、あなたも「やずとく」しませんか？

心と体を鍛えながら、子どもの人権や自尊心を大切にする指導を続けている郡家剣道教室。小学生から大人まで約40名が通い、日々稽古に励んでいます。このたび、その長年の取り組みが評価され、全日本剣道連盟から「少年剣道教育奨励賞2025」を受賞しました。

教室を率いる森田さんは、昭和52年に始まった前身の郡家警察署少年剣道教室を平成12年に引き継ぎ、フリーニング業の傍ら38年間にわたり指導を続けてきました。これまでに県内外で活躍する選手を育て、最近ではOBのお子さんが入会するなど、世代を超えて剣道の輪が広がっています。



気合いを入れて一本!

生徒の一人は「試合の動画を見てかっこいい!」と思って始めた。勝てたらうれしいし、負けても次はどう生かすか考えるのが楽しい。目標は日本一になること」と輝く表情で話してくれました。

また、剣道をする子どもが減っている中、森田さんは大人の剣道人口も増やそうとSNSなどでの魅力発信にも力を入れています。その効果もあり、県内外から鳥取へ出稽古に訪れる剣士も増えているそうです。「大人が楽しむ姿を見せることで、子どもたちにも剣道って楽しそう!と思ってもらいたい」と語る森田さん。これからは剣道の魅力を発信しながら、子どもたちへの指導にも力を注いでいきたいと話していました。

郡家剣道教室では、一緒に活動する仲間を随時募集中です。毎週、火・金に練習しています。詳しくは、郡家剣道教室(☎72・0168)森田さんまでお問い合わせください。



賞状を手にする森田さん(中央)と剣道教室の小学生メンバーたち